

景観リーダー育成研修 課題発表



市川三郷町

◇活動内容の紹介①

× だれが、どこで、何人で、いつから、何をしているか・・・。

住民を中心にH13年から市川地区中央部でまちづくり懇談会を開催しており、現在は月一回懇談会を開いている。その他にもまち歩きや、毎年祭りの開催もしている。

× 活動を始めたきっかけ。

古くから市川地区中央部は商業・生産等の中心として繁栄してきたが、今日、木造住宅の密集や老朽化の進行、商店街の活力低下、建替え困難敷地が多く、問題を改善し一層の発展が期待できる町にするため

× 活動団体の体制。

部門別（狭あい道路、防災、商店街活性化）のプロジェクトチームを発足させ検討を重ねてきた。

× 他の団体・個人との連携。

山梨大学、県、地区の方々



◇活動内容の紹介②

活動の成果、波及効果

街環を使い中央通りの道路整備や街かどスポット整備を行いH26年度でハード面の整備は完了した。



柿の木の辻 (H19.3)



北河原の散歩道 (H21.3)



落合の道祖神 (H24.3)



中北の井戸端 (H21.3)



蘆洲の庭 (H23.3)

◇活動内容の紹介②

× 成功の要因

住民、学識経験者、行政がどのような整備をするか協議し整備を進められた。

× 活動を通じて学んだこと、得たこと

道路や公園の整備を通じて、その地域や場所に合う景観を考え、景観に配慮したまちづくりを知ることができた。

× 活動の今後の展開

ハード整備が終わった今、街かどスポットの管理で地域住民の方々に協力して頂いてはいるものの、高齢化の為、体力的に厳しいとの声が多く、今後の管理方法の検討も必要になっている。

× 現状の課題点

当町だけでなく全国的に問題視されている、空き家、空き地の問題について、当町もここ数年増加傾向にあり、安全面、衛生面の問題だけでなく、景観面から考えても改善していきたい。

◇政策提案

× 現状の課題に対する提案 空き家問題を景観面で考える。

(行政)

- 家屋、庭の手入れ管理ができておらず、景観に悪い物件の把握。
- 管理者をはっきりさせ、連絡を取れるようにし、除草、クリーニング、郵便物の取出しを促す。(最低限の管理)

(行政以外)

- 特に管理が行き届いていない空き家は、地域全体の景観悪化に繋がり、不法投棄、不審者などの治安悪化にも繋がる、これらが見受けられる場合には、行政や警察への連絡を徹底してもらう。

